

いよいよ立ち上がってきた新市場:光インターコネクション
～ 開発を加速させるKEYは
オープン・イノベーション戦略 ～

WEB掲載用抜粋版

先端フォトンクス株式会社
2008.12.01 Ver 3.0

APi 社における事例



02.会社概要

APi は 光インターコネクションに関する
 トータル設計開発力を有した
 大学発ベンチャー企業です

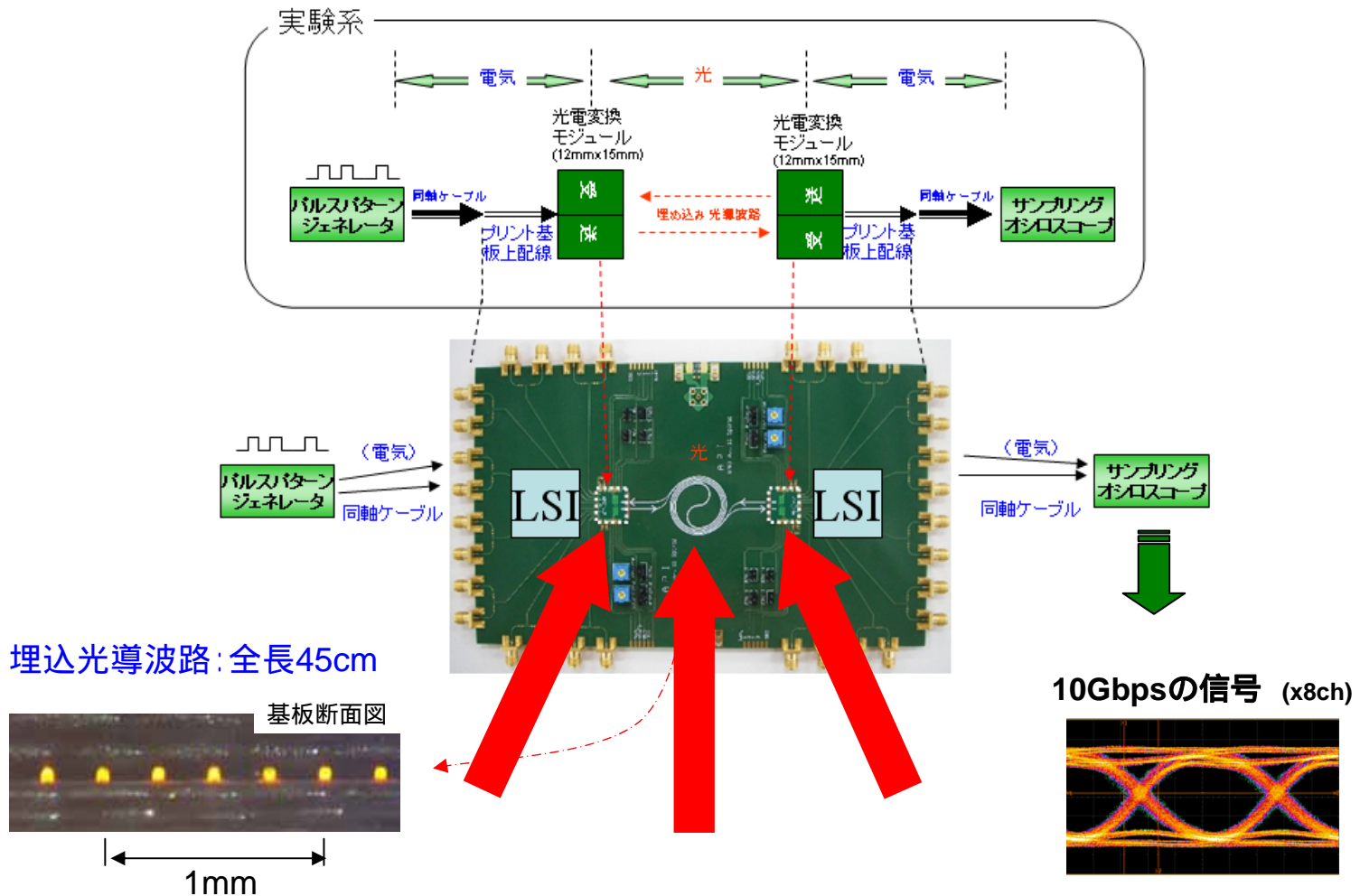
- 社 名 先端フォトニクス株式会社
- 英 文 名 Advanced Photonics, Inc.
- 本社住所 東京都大田区羽田旭町7-1-103
- 共同研究先 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学先端科学技術
研究センター3号館404号
- 事業内容 高速大容量 光配線実装基板の開発・設計・製造・販売
- 資本金 1億8800万円
- 発行済株式総数 28,775株

- 経営陣
 - 最高技術顧問/取締役 中野義昭(東京大学教授)
 - 代表取締役社長 重松 誠
 - 取締役CTO 宋 学良
 - 監査役 若林拓朗(ASTEC社長:ベンチャーキャピタル)
 - 法律顧問 AZX総合法律事務所

03. 展示品

埋込型光導波路(45cm)基板の 動態展示を行なっています

(日経産業新聞 掲載)



オープン・イノベーション



01. オープンInv とは？

「社内」研究開発を促進するための 意図的な「外部」技術の流入

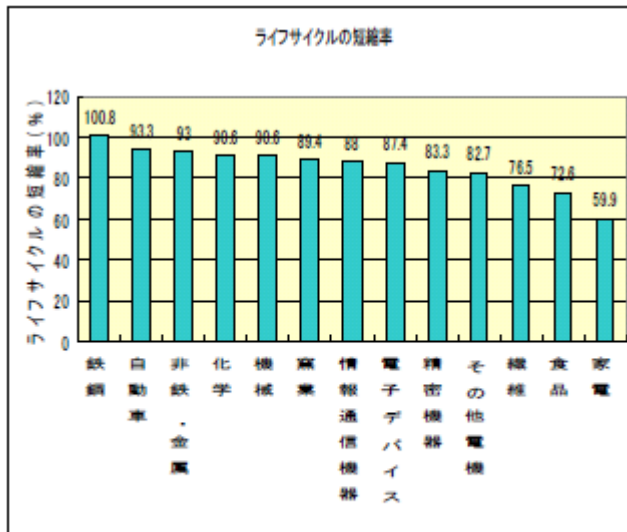
Henry Chesbrough, 2006



02. 開発環境の変化

企業の命運 = 開発効率の向上

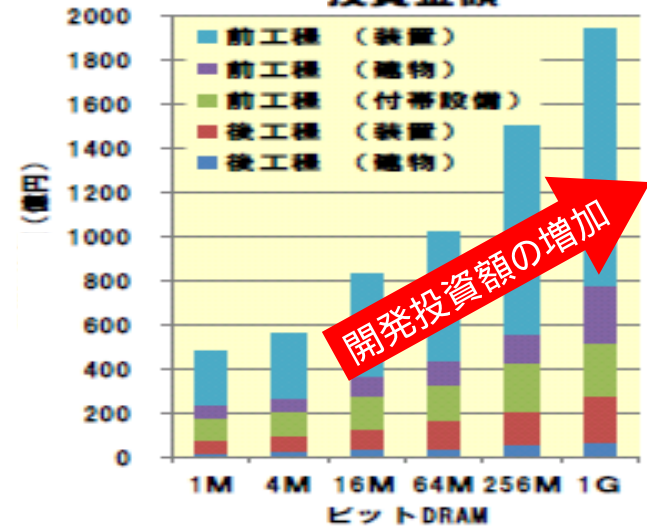
新製品の短命化



(資料)経済産業省他「2007年版ものづくり白書」2007年5月

(注)ライフサイクル短縮率=
(主力製品の現在のライフサイクル年数(産業別平均値)) / (主力製品の5年前のライフサイクル年数(産業別平均値))

DRAMの各世代ごとの投資金額



(資料) 半導体産業研究所 (SIRIJ) 調査

03. 研究費の変化

企業の開発業務において 社外ウエイトが上昇

企業の研究費に占める外部資金のウエート

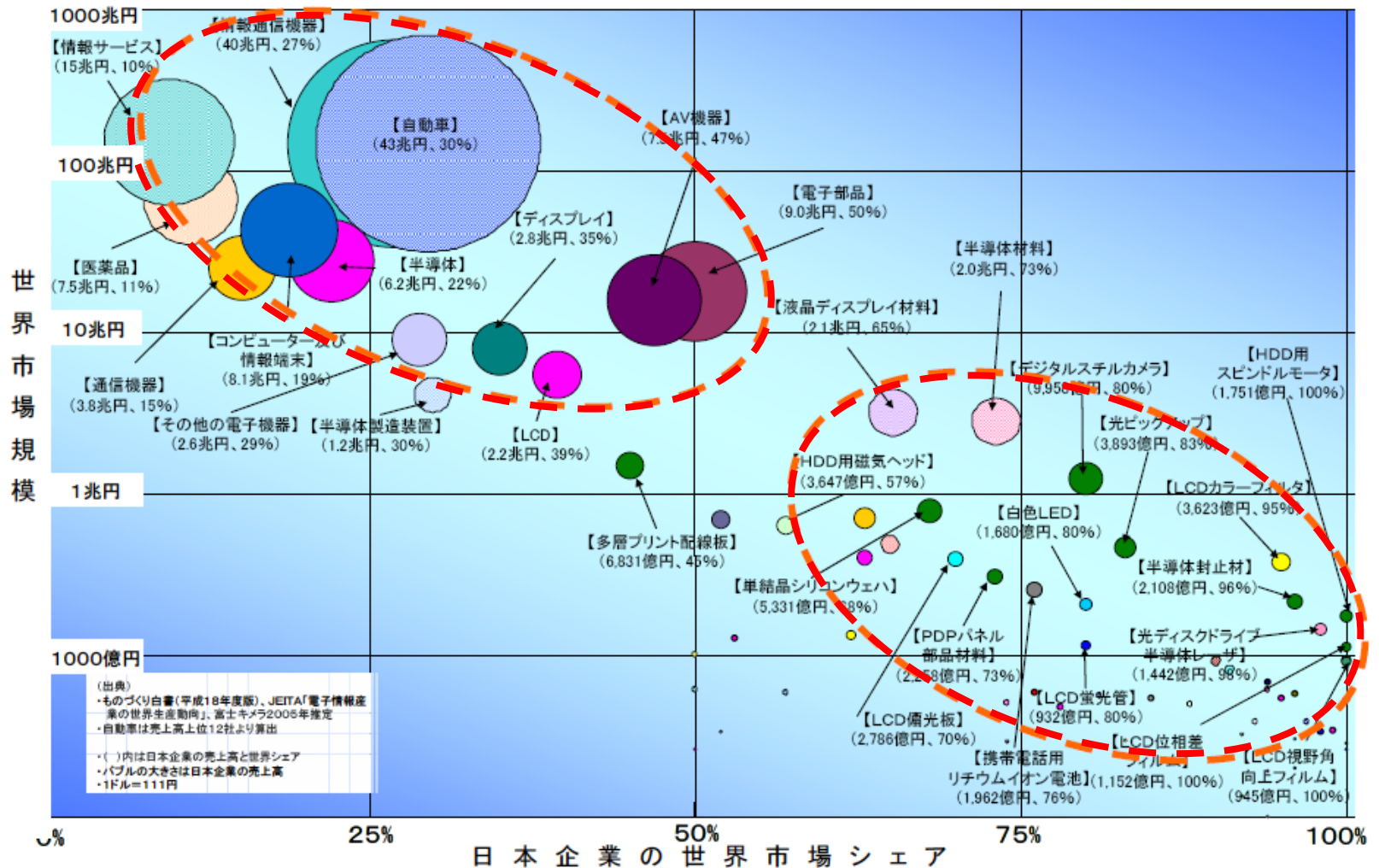
OUT
IN

	1990年	1995年	2000年	2005年
自己負担研究費に占める 社外支出研究費の比率	8.3		11.1	13.1
社内使用研究費に占める 受入研究費の比率		3.6	5.7	9.6

出所：総務省「科学技術研究調査報告書」より
東レ経営研究所 増田貴司氏作成

04. グローバルシェア

高シェアを誇る日本の要素技術 ～ オープンInv. でフル活用



05. オープンInv.を成功させる

K F S (Key Factor for Success)

メンバー間の信頼関係の構築

問題の共有、フリー・ディスカッションの醸成

オープンInv.とクローズInv.を 補完的に機能させる

守るべき自社コア技術を明確化する

開発分野の役割分担を明確化する

双方に優位性あるコア技術での融合

事業化を前提としたテーマを選定する

報告書作成の為の研究開発にさせない

時間軸を明確にする

工程表によるゴールまでの距離感を共有する

プロデュース人材(セクション)を尊重する

不確実性を受け止める

運営の公正・公平の確保 「パートナー・シップ」

獲らぬ狸の皮算用

外注ではない！

貴社主力製品の
光伝送化を
当社と一緒に
進めませんか！

まずは御連絡をください。

info-api@advancedphotonics.co.jp

先端フォトニクス株式会社